

分階木密

建物の階の減築によって新たに避難経路を確保し、暮らしの要素をそれぞれに分解した木密地域のリノベーションの提案。

木密の路地はとても細い。
そんな細い路地に植物やお花を飾ったり、
自転車やバイクを置いていたり、洗濯物をそれぞれ干していたり・・・

風景はその場で暮らす人々の生活によって作られていく。
私たちは木密で「生活による風景」を大事にしたい。

路地でありながらまるで自分たちの庭のように使いこなしている。
そこで暮らす人たちの生活が外ににじみ出ている。

木密に暮らす人たちがさらに豊かに暮らすための
新たな生活を提案する。

くつろぎコインランドリー

木密住宅には時々洗濯機が置けなかったりする。
近くにコインランドリーがあれば利用しやすいし、
ここで暮らす人たちが会話を楽しむくつろぎの場
としても利用が可能。

持ち寄り図書館

家に眠っている本を集めて木密に暮らす人たちが
運営する図書館。
暮らす人たちの情報共有と記憶の蓄積の場。

小さな運動場

木密住宅はコンパクトな家が多いので、なかなか
家の中で運動が出来ない。
小さくてもみんなで設備を共有できるスポーツジ
ムがあれば気軽に運動出来るし、お互いに高め
あえるきっかけになる。

みんなのお風呂

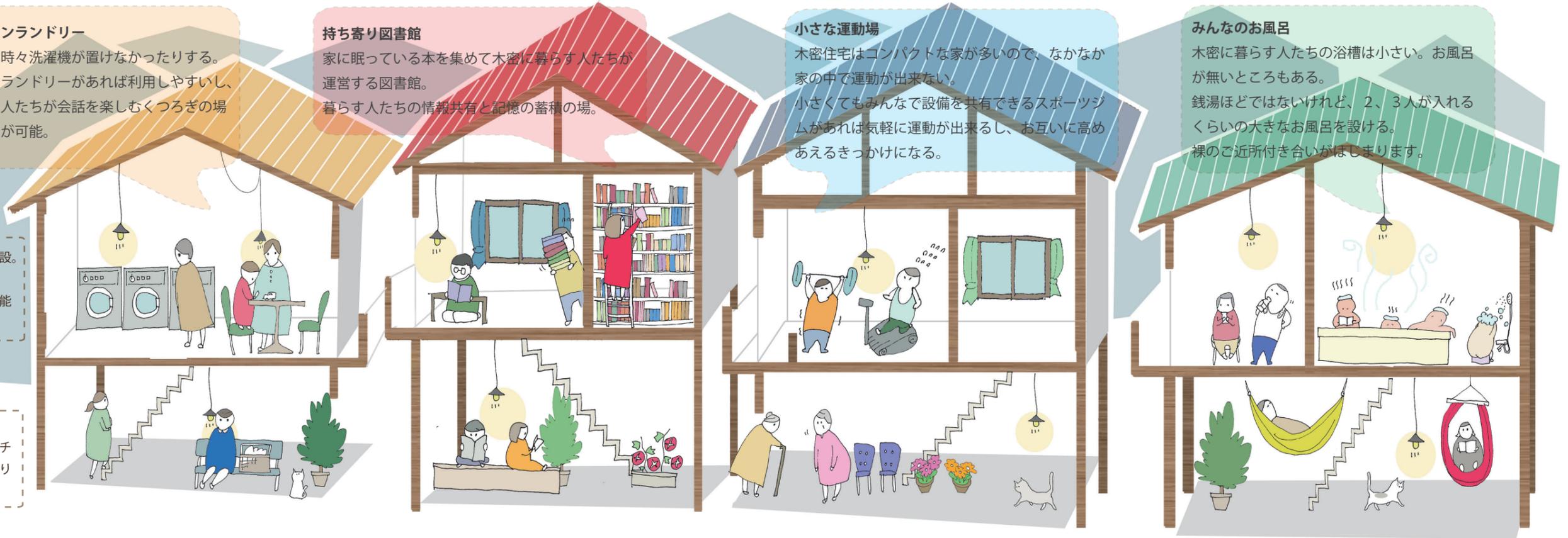
木密に暮らす人たちの浴槽は小さい。お風呂
が無いところもある。
銭湯ほどではないけれど、2、3人が入れる
くらいのお風呂を設ける。
裸のご近所付き合いがほじまります。

2F 木密共有施設

木密に暮らす人が共有で利用する施設。
家の外に生活の一部を預ける事で
ミニマムにゆったりとした生活が可能
になる。

1F 路地

建物の1Fを開放した避難経路。
半屋外空間になっているので、ベンチ
でごはんをたべたりおしゃべりしたり
新たなコミュニティの場となる。



DIAGRAM

① 避難通路を確保する。

木密地域は路地が細く、
避難通路が十分に確保できない問題がある。
既存の建物を利用しながら新たに避難経路を
確保する。

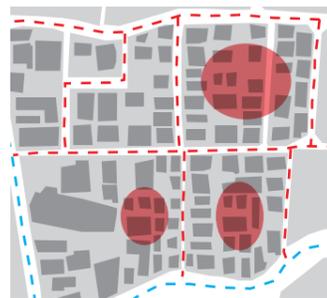
② 建物を縦に減築する。

避難経路を確保するために建物の半分を
減築する。
1Fであった場所を通路とし、
建物の2Fに機能を加える。

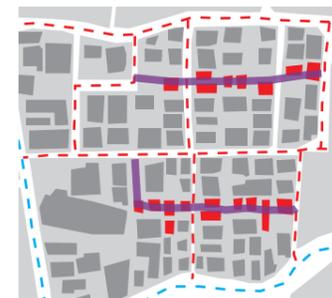
③ 暮らしの要素を分散する。

建物2Fにはその木密地域で生活する人にとって
必要な暮らしの要素を加えていく。
例えばコインランドリーや共有図書館など。
いろいろな暮らしの要素を木密地域に分散していく。

●現状



●計画後



- - - 1 車両通行可能通路
- - - 2 車両通行可能通路
- 危険地域
(十分な避難経路が無い場所)

新・避難通路

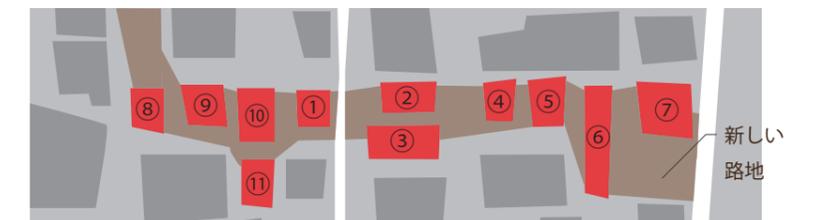
BEFORE



AFTER



- ① コインランドリー
- ② ライブラリー
- ③ みんなのお風呂
- ④ カフェ



- ⑤ スポーツジム
- ⑥ 音楽室
- ⑦ シアタールーム
- ⑧ パン屋
- ⑨ アトリエ
- ⑩ ミーティングルーム
- ⑪ 管理人室

新しい路地